

## 2025年の挨拶

国連ウィメン日本協会  
理事長 橋本 ヒロ子

今年は、1995年に開催された第4回世界女性会議で「北京宣言・行動綱領」が採択されてから30周年（「北京+30」）です。

世界の女性や少女達の状況は、30年前に比べて良くなっているのでしょうか？多くの開発途上国の女性達

の状況は教育の普及などで少しずつ改善している一方で、イラクでは女性の婚姻可能年齢を9歳に下げた法律改悪をしました。

侵略、内戦による性暴力、コロナ下で外出ができないことなどによる家庭内暴力の増加など、女性に対する暴力は増えています。国連の統計によると2023年は前年に比べて紛争による女性死亡者数、女性に対する暴力件数が2倍に増えました。特にガザにおける状況は厳しく、昨年WHO, UNESCO, UNICEF, UN Women, UNHCRを始め、多くの国際機関の長が連名で「これらの残虐行為は終らせなければならない」という声明を出しました。

世界で、6億1,200万人の女性と少女が戦争・紛争から受けている恐怖は、10年前よりも50%増えています。

このような状況で、国連の役割は年々重要になっており、国連安全保障理事会が2000年に採択した決議1325(女性、平和、安全保障)では、加盟国に対し、「紛争の予防、管理と解決のための国、地域および国際的な機関並びに機構におけるあらゆる意思決定レベルに女性の参加が増えることを確保することを促す」と述べています。特に、紛争相手の女性・少女に対する性暴力の防止、和平交渉などにおける女性の役割が評価されています。

一方で、トランプ大統領の就任により、国連への米国の拠出金が減るという予測もあり、市民社会からの国連への寄付に対する期待がますます大きくなっています。皆様の一層のご協力をお願いします。



## UN Women日本事務所の 新所長就任 挨拶

UN Women (国連女性機関) 日本事務所  
所長 焼家 直絵

皆様、初めまして。  
2025年2月1日付でUN Women(国連女性機関)日本事務所長に就任した焼家直絵(やきや なおえ)です。

2025年は、1995年の北京宣言および行動綱領が採択されてから30周年となる重要な年です。また、「女性・平和・安全保障(WPS)に関する国連安保理決議第1325号」が全会一致で採択されてから25周年の節目の年でもあります。世界的に紛争が増加しており、2023年には170もの武力紛争が行われ、紛争により亡くなった女性の数は、前年の2倍に急増しております。2050年までにさらに1億5,830万人の女性と少女が貧困に陥る可能性があります。UN Womenによる支援活動ニーズが高まっており、さらなる支援が必要です。

世界ではジェンダー平等やDEI\*に対する揺り戻しのような動きもあります。そうした今だからこそ、コミットメントを新たにして、多くの方々と結束して、しっかりと推進していくことが今まで以上に重要です。

前職のWFP(国連世界食糧計画)で約23年、人道支援や開発支援に携わる多様なポストを歴任しました。シエラレオネ、ミャンマーで副事務所長として勤務した後、WFP日本事務所長として、6年間、政府、企業との連携及び資金調達、広報などを率いました。昨年はソマリアにて臨時副所長として赴任しておりました。これまでの経験を活かし、皆様と協力し、日本との連携構築、メッセージの発信に邁進してまいります。

世界での活動を実施・拡大できますよう、温かいご支援をどうぞよろしくお願い致します。



\*「Diversity(ダイバーシティ、多様性)」「Equity(エクイティ、公平性)」「Inclusion(インクルージョン、包括性)」の頭文字からなる略称

## UN Women国内委員会年次総会に参加して

2024年10月8日-10日まで、ヘルシンキで開催されたUN Women国内委員会年次総会に参加した報告を共有させていただきます。今回は会議の前にほぼ半日かけてスタンディング・コミッティー（常設委員会）が開催されました。この委員会はUN Womenの13か国にある国内委員会がお互いにサポートしあうことを目的に結成されたもので、今回は、初日に行われるカーシー・マディUN Women副事務局長とのセッションで本部にどのようなサポートを要請するかが話し合われました。今回、このように国内委員会同士の連携、助け合いの機運が高まっているのを強く感じました。

毎年行われるUN Womenファンドレイジング・コンサルタントによる国内委員会全体の収支動向の報告がありました。為替レートの影響もあり、2024年の収益（予想を含む）は、25.1%伸びた（ただし純粋な伸びは9.5%）とのこと。9.5%の伸びの内訳は、都度募金の伸びが9.8%、マンスリードネーションの伸びが6.2%、企業は2023年から109.4%も伸びました。企業の伸びは予想外でコンサルタントも驚いていました。

他の国内委員会の成功例が紹介されましたので、いくつかご紹介いたします。まず、今回の会議を主催したフィンランド国内委員会.norlynという下着ブランドと多年度にわたるパートナーシップを結び、同社が作っているタイツ/ストッキングを販売。収益はあまり上がらなかったが、UN Womenの名前を知ってもらうには役立ったそうです。



いつも収益トップの優等生であるアイスランド国内委員会。アイスランドは観光スポットだけでなく、ジェンダー平等が進んでいる国として興味を持たれており、アメリカやEUからの観光客が多いそうです。そのため観光業、Barjaya Hotelと提携。同ホテルにはWEPsにサインするよう奨励し、カスタマー・ハラスメントなどのない安全な職場にするのに役立つことを説明したとのこと。

ユニークな活動で定評のあるUK国内委員会。アンステレオタイプ・アライアンスのメンバーで、HeForSheにも熱心なボーダフォン（Vodafone）と提携。UK国内委員会は、この提携をアドボカシー+ファンドレイジングととらえ、主な活動は①有料のワークショップ開催、②リサーチ、③アドバイスの提供、などだそうです。

このように国内委員会の連携が深まっているのを象徴するイベントが、3月8日の女性デーに実施予定のマーチ（March Forward）です。取りまとめ役を担っているアイスランド国内委員会がセッションの中で各国内委員会に参加を呼びかけました。これは13か国の国内委員会が、同時にマーチを行って世界を結び、ジェンダー平等を訴えようというものです。

副理事長 本田敏江



## 国連ウイメン日本協会総会報告

2025年通常総会が、3月1日（土）10時半から婦選会館において開催され、阿部幸子（正会員・国連ウイメン日本協会東京）議長の下、2024年度事業報告・決算報告、2025年度事業計画・活動予算書案、定款の変更が承認されました。

### 決算報告

国連ウイメン日本協会2024年度決算報告  
(2024年1月1日～12月31日)単位:円

#### 一般会計

■収入の部		■支出の部	
会費収入	1,910,000	拠出金	16,512,773
寄付金収入	21,565,704	事業費	8,980,807
参加費・雑収入	1,001,155	管理費	3,042,066
繰入金	4,300,000		
当期収入合計	28,776,859	当期支出合計	28,535,646

#### その他の資金

■収入の部	
利息	2,301

当期正味財産増減額 -4,056,486  
前期繰越正味財産額 43,407,175  
次期繰越正味財産額 39,350,689

### 2024年度拠出金支援報告

拠出金総額は16,512,773円となりました。

- ①ウクライナ支援 3,435,995円 (21,444.16ドル)
- ②ガザ危機支援（レバノンを含む）  
3,750,000円 (23,870.14ドル)
- ③ロヒンギャ難民キャンプ  
1,500,000円 (9,548.06ドル)
- ④アフガニスタン支援 750,000円 (4,774.03ドル)
- ⑤エチオピア（ICT）支援 1,500,000円 (9,272.42ドル)
- ⑥女性に対する暴力撤廃国連信託基金  
1,500,000円 (9,548.06ドル)
- ⑦コア（緊急支援含む） 4,076,778円 (25,536.76ドル)



総会・ネットワーク会議の際に出席者と共に3月8日の国際女性デーに行うマーチの予行練習をし、結束を深めました。



## 国際ガールズデー2024報告

### 明日を信じて

イベントタイトル:

国連「国際ガールズデー」オンライン チャリティ イベント  
「紛争下における南スーダンの少女たちの状況」

日時:2024年10月6日(日) 16:00~17:30

会場:Zoomウェビナー

共催:公益社団法人 日本女性学習財団

講師:会田有紀氏 (Monitoring and Reporting Specialist  
/UN Women南スーダン事務所)

参加者:約100名

193番目の国として2011年にスーダンから独立した世界で一番新しい国 南スーダン。紛争、隣国スーダンの内紛、甚大な被害を繰り返しもたらす洪水、男性優位社会が故の女性/少女に対する差別や暴力… そのような状況下で進める平和構築と国づくりの道は厳しいようです。

「南スーダンの少女と女性の状況を良い方向にもっていくのは気の遠くなるような長い道のりであると感じています。」と会田さんは言われます。国内外での豊富な支援活動経験に裏打ちされた言葉として重く受け止めました。

朝を迎えた首都ジュバの空気を感じながら、はるか遠い南スーダンで暮らしている少女たちが安心安全な時を過ごすことが出来るようにと祈ったひと時でした。

理事 浅野万里子



## 女性に対する暴力撤廃国際デーイベント報告

国連ウイメン日本協会は、2024年12月7日「女性に対する暴力撤廃国際デー」のイベントを女性学習財団と共催で、UNRWAガザ事務所勤務で緊急支援のコーディネーション担当の吉田美紀氏を講師に迎えて実施しました。

イスラエルのガザ侵攻以降は、物資の不足、インフラや医療の崩壊がおき、女性は不衛生な環境下での感染症罹患や生理用品の不足、妊婦の栄養不良が深刻です。ジェンダーに基づく差別・暴力も起きていますが、訴えても解決しないと諦め、声を上げない被害女性たちも多くいます。

そんな厳しい現地において、日本は人道支援の中心的役割を担っているとのことでした。

引き続き、皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

理事 日吉郁美

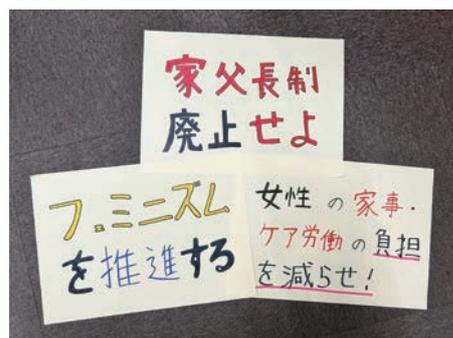


## 応援メッセージ

私たちは今回国連ウイメン日本協会に伺わせていただき、世界の女性に対する扱いについて詳しく学ぶことが出来ました。また、今まではどこか他人事だと思っていた問題が自分の身近にあっていつ自分に起こってもおかしくないことだという風に認識し直すことができました。今回お話を聞いて、学生の私たちにも募金活動以外でできることがあると知り、周りにもこの活動を広め、今の若い世代の人たちが弱い立場の女性について知り、活動に参加してくれると良いなと思いました。これから先、少しでも苦しみ、悲しい思いをする女性が

減るよう、国連ウイメン日本協会の活動が世の中に浸透し、活動の幅が広がっていくことを願っています。

東京女学館中学校



思いをプラカードに

## 協力協定団体の活動

### 国連ウィメン日本協会 北九州

毎年、北九州市立男女共同参画センター・ムーブで開催されるムーブ・フェスタ初日に合わせて、チャリティバザーに取り組んでいます。2024年度は7月6日（土）にムーブ交流広場で行いました。毎年、楽しみにされている利用者の方もおられ、今年も行列ができるほどの賑わいでした。バザー品の収集、前日の値付け、会場設営など準備は大変でしたが、104,500円の売り上げがあったほか、募金及び寄付金が11,100円も寄せられました。バザーの収益金は、国連ウィメン日本協会を通じて、UN Womenに寄付され、世界中のジェンダー平等と女性のエンパワーメントの推進を支援する活動に役立てられています。

事務局 福岡賢司



(チャリティバザーの様子)

### 国連ウィメン日本協会 大阪

2024年12月14日に、クレオ大阪中央にてヒューライツ大阪とクレオ大阪中央主催の「じんけんシネマ2024」が開催され、国連ウィメン日本協会大阪も共催団体としてブース出展をしました。今年、『マイスマールランド』と『パレードへようこそ』の2作品を上映しました。参加者からは、「人権が尊重される社会になってほしいと改めて思いました」、「正しい情報を知ることが大事だと感じました」、「誰もが自分らしく心豊かに生きる権利を持ち続けられることが大切だと思いました」といった感想をいただきました。今回で7回目の開催となる当イベントですが、毎年楽しみにしてくださる方も少しずつ増え、上映後には、「次回のじんけんシネマも楽しみにしています」といった声をかけていただきました。

事務局 長栄くみ子



「じんけんシネマ2024」の様子

### 国連ウィメン日本協会 東京

2024年7月12日に、インド映画上映会「燃えあがる女性記者たち」を開催しました。10代から90代の参加者61名が集い、上映終了後の感想を語り合う会では、活発な意見交換が行われました。カースト制度の外側にあつてヒンドゥー教社会における被差別民であるダリッド出身の女性記者たちが、果敢に現状を訴え戦い抜く姿勢に胸を打たれた、仲間を率いる女性リーダーの揺るがない姿勢に教育の尊さを感じた、などの感想が寄せられました。今後もこのような啓発の機会を増やしていけたらと思います。また12月14日には、上尾市で地域の音楽文化を育てて来られた清友会主催のクリスマスコンサート会場にてバザーを出店、お買い上げの際に当会の活動を伝え乍ら上尾市の方々と楽しく交流しました。

会長 城倉純子



上智大学同窓会主催 ソフィアンバザーの様子

## 国連ウィメン日本協会 さくら

2024年12月14日「尾崎行雄没後70年の集い」に出席。

小山会長は、挨拶の中で、“国連ウィメン”はジェンダー平等の推進や女性のエンパワーメントに取り組み、ジェンダー格差の解消に男性の主体的な関わりが重要であるとSDGsの目標5「ジェンダー平等を実現しよう」をテーマに語りました。

男性の参加者が多い集いでもあり、男性のリーダーシップやジェンダーに限らずあらゆる差別をなくしていく。“こうあるべき”との意識を変え、誰にも自由な「選択肢」の重要性について述べました。

支援の一つとして、国連加盟国の拠出金だけではまかないきれない活動資金を民間から支えるための募金活動に理解を訴えました。

今後とも国連ウィメンの広報活動に力を注いで参ります。

事務局長 山内聖士



「尾崎行雄没後70年の集い」にて、弊会小山より

## 国連ウィメン日本協会 多摩

例年どおり総会の終了後にチャリティーコンサートを行いました。今回の会場は6年前にも総会と学習会を開催したカフェレストランで、素敵な明るい雰囲気の催しとなりました。そして初めての企画として、中国のアーティストをお迎えして日本の琴が中国から渡ってきた楽器であり、楽曲のなかにも二つの国で交流して変化してきた歴史を教えてくださいました。参加者が直接古琴、古筝に触れて、



「さくら」の演奏指導を受ける場面もありました。黄瑩さんが中国の歴史を紐解く文献を日本で発見できた感激や音楽にかける熱い想いが伝わりました。府中市内からの参加者も多く、多摩の広報活動として成功裏に終わることができました。

広報担当 高橋由美

黄瑩さんの箏演奏で「涙そうそう」を歌いました

## 事務局からのおしらせと報告

### ■ SNSでも発信しています！

日本協会では、ホームページに加えてSNSでも、世界中の女性と少女のさまざまなストーリー、彼女たちの置かれた状況と解決すべき課題、勇気ある闘いの様子、そして、そんな彼女たちを支援するUN Womenの活動や当協会の様々なイベント、募金活動について発信しています。

以下のSNSのフォローをぜひお願いします！そして、いいね♡、シェア、リポストなどもお願いいたします。

SNSを通じて、より多くの方に世界の女性と少女のこと、そして、私たちの活動のことを知っていただくことがとても大きな力になります。私たちの協会のアドボカシー活動にご協力をお願いいたします。



### ■ 国連ウィメン日本協会会員 2025.1.31現在

#### ・正会員団体11団体

- (公財)アジア女性交流・研究フォーラム
- NPO法人一冊の会
- 国際婦人年連絡会
- 堺市女性団体協議会
- (公財)横浜市男女共同参画推進協会
- (一財)大阪男女いきいき財団
- 群馬婦友会
- 国連ウィメン日本協会多摩
- 全国友の会
- (株)高島屋
- 国際ゾンタ26地区

#### ・正会員個人20名

#### ・賛助会員団体13団体

- 日本生活協同組合連合会政策企画部
- にいがた女性会議
- 越谷ミズの会
- (公財)佐賀県女性と生涯学習財団
- (株)フジテレビジョン
- 国際ゾンタ姫路ゾンタクラブ
- (株)クロスメディア・ランゲージ
- 国連ウィメン日本協会北九州
- (一社)大学女性協会
- (株)Mar United
- 横浜新港倉庫(株)
- 国連ウィメン日本協会さくら
- 国連ウィメン日本協会東京

#### ・賛助会員個人101名

## ■ ご寄付のお願い

世界の女性と少女を取り巻く環境の悪化に伴いUN Womenは支援活動を拡大していますが、資金不足に悩んでいます。ご寄付は税制上の優遇措置の対象になります。ぜひホームページからお申込みください。  
[https://www.unwomen-nc.jp/?page\\_id=4292](https://www.unwomen-nc.jp/?page_id=4292)



①「国連ウィメン・マンスリーサポーター」になりませんか？  
月々一定額のご寄付を続けていただくマンスリーサポーターを募集しています！

毎月のご寄付は、UN Womenが各地で継続的にプログラムを展開する上で、なくてはならないご支援です。皆様の安定的な支えにより、緊急時には迅速に、長期の支援には計画的に取り組むことができるようになります。

### ・用途について

UN Womenがその時、最優先と判断する支援に大切に使用させていただきます。(最優先指定)

### ・寄付の方法について

クレジットカードからの自動引き落としです。銀行・郵便局の口座振替をご希望の方はご自身でのお手続きが必要ですので、事務局までお問合せください。

### ・金額について

月々1,000円以上、千円単位で、申し込み画面の選択肢より金額をお選びいただけます。

## ②「今回の寄付」

いつでもご自身のタイミングで、ご都合にあわせた金額でご寄付いただく方法です。

### ・用途について

最優先指定以外をご希望の場合は、メッセージ欄等での旨お知らせください。

### ・寄付の方法について

クレジットカード、郵便振替、銀行振込です。  
ホームページから簡単にご寄付いただけるクレジットカード決済(1,000円以上から)がおすすめです。

### (郵便振替)

記号番号：00240-7-43928

口座名義：NPO法人国連ウィメン日本協会

### (銀行振込)

ゆうちょ銀行 当座 ○二九店(ゼロニキュウ)

口座番号：0043928

口座名義：NPO法人国連ウィメン日本協会

## ■ 2024年 団体・企業からのご支援 (五十音順)

団体：京都先端科学大学附属高等学校

国連ウィメン日本協会大阪

国連ウィメン日本協会北九州

国連ウィメン日本協会さくら

国連ウィメン日本協会多摩

国連ウィメン日本協会東京

国連ウィメン日本協会よこはま

淑徳中学高等学校社会福祉部 全国友の会

日本共産党中央委員会(党員による募金)

日本広告業協会(JAAA)

函館ズンタクラブ 松本ズンタクラブ

企業：(株)NTTデータイントラマート (株)meeth

(株)昭和商会 (株)高島屋 日興アセットマネジメント(株)

日本アイ・ピー・エム(株) ビューティショップK

フュージョン(株) ラルフローレン合同会社

## ■ 2024年 個人からのご支援

297名(企業・団体内で実施された個人募金は除く)

## ■ 「遺贈寄付」をご存知ですか？

遺贈寄付とは、人生の最後に残った財産の一部を社会貢献団体に寄付することです。UN Womenを通して世界の女性や少女たちに未来の贈り物を届けたい、というあなたの温かいお気持ち。日本協会では、そのお気持ちに沿って遺贈寄付を受け付けています。遺贈寄付には二つの方法があります。

### ①ご自身で遺言に書いておく「遺贈」

相続人がいない方、ご家族に全てを残す必要はないとお考えの方、相続税対策をお考えの方、そして何よりも長い人生の中で築いてきた大切な財産を、ご自身がこれまで大切に思ってきた価値あることに使ってほしいと思う方にお勧めの方法です。

### ②亡くなった後、ご家族が相続財産から寄付をする「相続財産からの寄付」

故人から寄付を託された方、故人の生前の活動を偲ぶたい方、相続税・所得税の減税をお考えの方、そして何よりもお亡くなりになった大切なご家族の思いを引き継ぎ、その生き方を讃えたい方にお勧めの方法です。

近年、日本協会では、「終活」をする中で平和を思い、同じ女性同士の支え合いによって次世代により良い世界を残したい、という方からのお問い合わせをいただくようになりました。また、ご遺族からご寄付のお申し出をいただくこともあります。

ご関心のある方はお気軽に、電話・FAX・メールにて、事務局「遺贈寄付担当」までお問い合わせください。

ホームページはこちらをご覧ください。

[https://www.unwomen-nc.jp/?page\\_id=1991](https://www.unwomen-nc.jp/?page_id=1991)



## <認定>NPO法人国連ウィメン日本協会

### 事務局

〒244-0816 横浜市戸塚区上倉田町435-1

男女共同参画センター横浜内(フォーラム)

・TEL/FAX 045-869-6787

・E mail [unwomennihon@adagio.ocn.ne.jp](mailto:unwomennihon@adagio.ocn.ne.jp)

・ホームページ <https://www.unwomen-nc.jp>

●交通のご案内 JR・横浜市営地下鉄「戸塚駅」下車、徒歩7分

